

自己紹介： 久木 裕 (くき ゆう)

1978年生まれ 東京都出身・滋賀県長浜市在住

バイオマスの専門コンサルとして全国各地の取組を支援、業界的な普及・人材育成等、省庁の業務にも携わる。

(株) バイオマスアグリゲーション 代表取締役

(株) エネルギーエージェンシーつしま 代表取締役

(株) こほくエナジー 代表取締役

(一社) 日本木質バイオマスエネルギー協会 理事



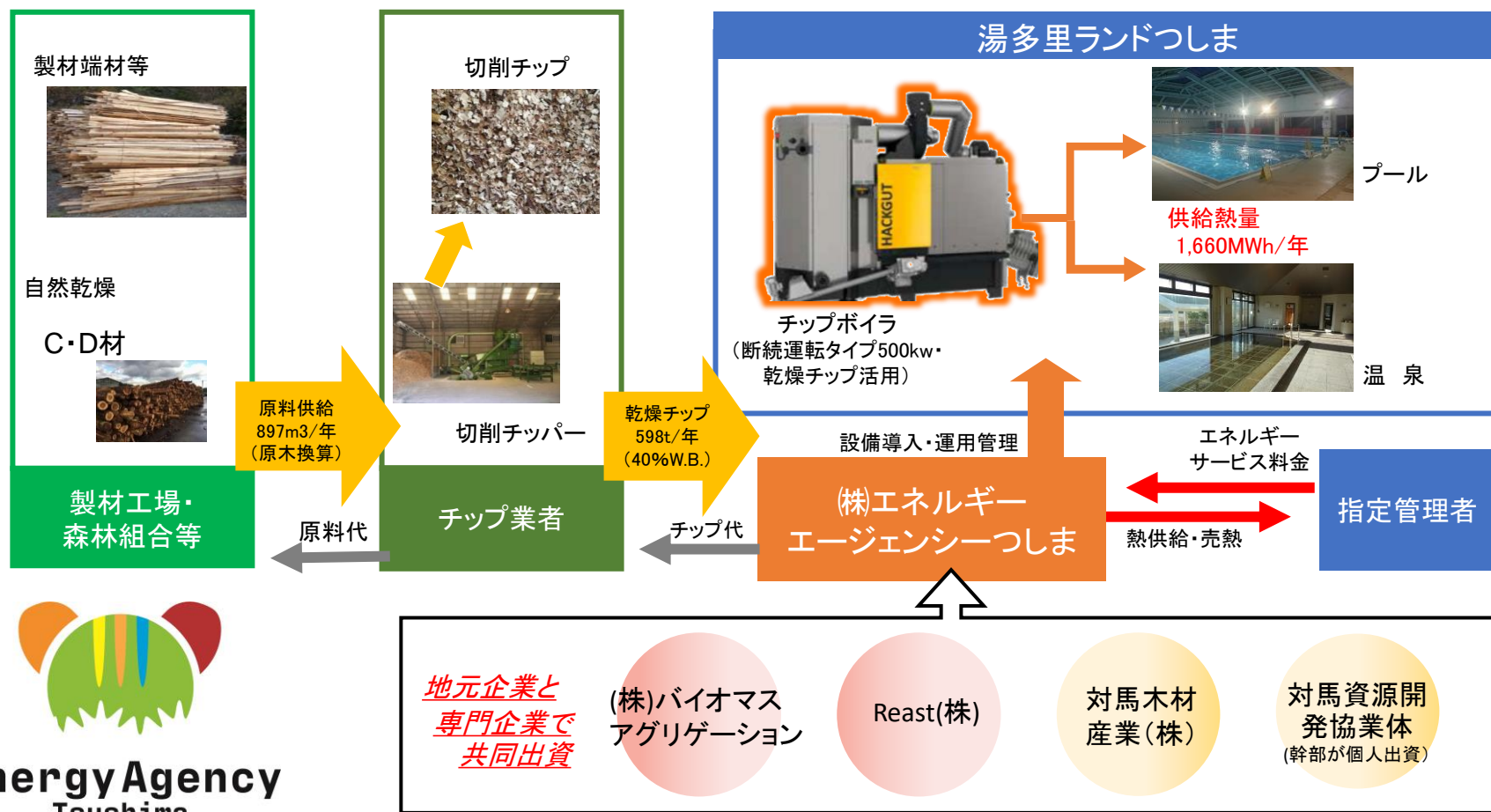
経 歴

- 大学院時代にバイオエネルギーと出会い、福島県南相馬市(旧原町市)で環境調和のまちづくりに携わる。
- 製紙会社を経て、2006年よりコンサルティング会社でバイオエネルギー・脱炭素まちづくりなどに従事。
- 2014年(株)バイオマスアグリゲーションを設立。
- 2017年(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会・理事就任。
- 2017年に拠点を東京から滋賀県長浜市に移し、バイオマスボイラの運用やチップの製造など**実践的な取組を展開**。その**経験をもとに地域のコンサルティング(特に熱利用にフォーカス)**に従事し、全国的な普及に取り組む。
- 2020年に長崎県対馬市で地元林産業者と(株)エネルギーエージェンシーつしまを設立し、バイオマスボイラによるESCO型の熱供給サービスを開始。
- 地元長浜市でゼロカーボンまちづくりを中心にコーディネート、2023年地元企業と(株)こほくエナジーを設立し、**地域主導のエネルギービジネスを通じたまちづくり**を実践中。

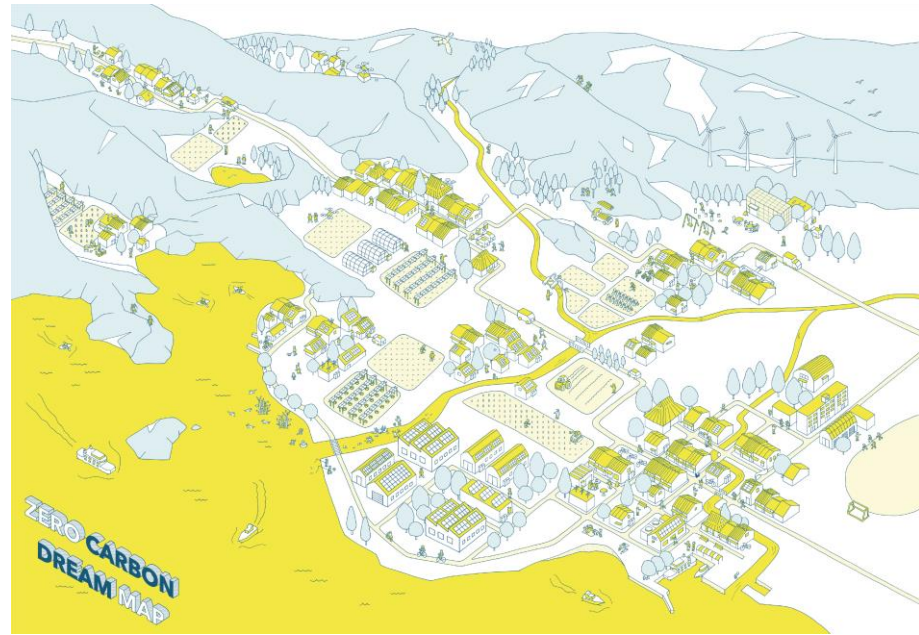
地域主導のバイオマス熱利用の普及：長崎県対馬市でのESCO型の熱供給サービス

- バイオマス熱利用をビジネスとして定着することが必要。
- 合わせて**地域にノウハウを落とし込み**、エネルギーの取組をけん引する**プレーヤーを育てていく**ことが重要。

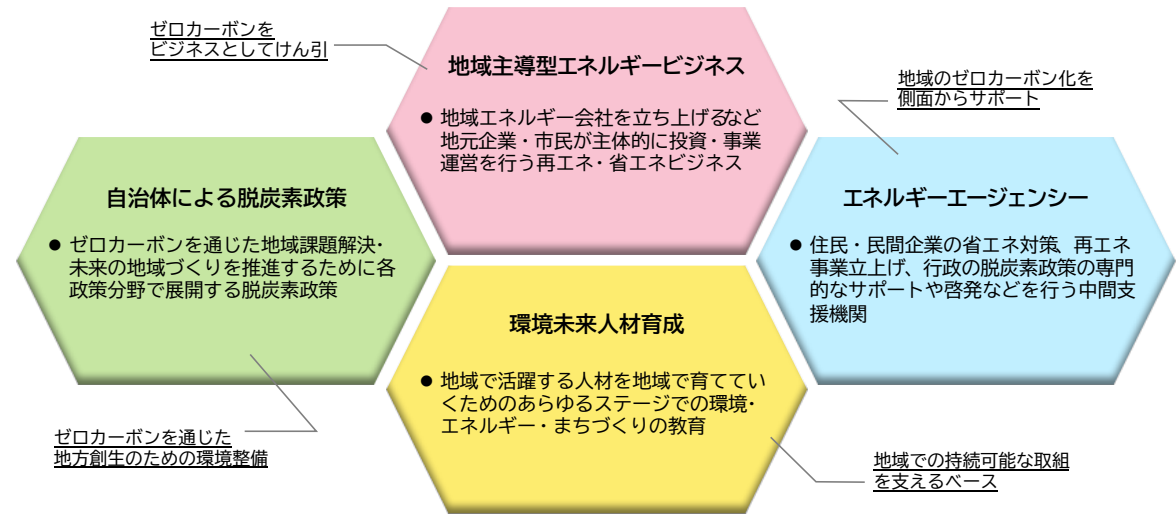
- こうした問題意識から2020年、長崎県対馬市で地元林産業者と共同出資して「(株)エネルギーエージェンシーつしま」を設立し、バイオマスボイラ（500kW）を導入し、ESCO型の熱供給サービスを開始。公共施設のお風呂・プールと20年契約で熱供給を実施。
- **地域伴走型**での支援を実施。



地域エネルギー会社・エネルギーエージェンシーの立上げ ：滋賀県長浜市でのゼロカーボンまちづくりのコーディネート



ゼロカーボンを通じた地方創生を実現するための4つのファクター



ゼロカーボンを通じたながはまの地方創生の実現

- 地元、滋賀県長浜市で行政・企業・市民共同で進めるゼロカーボンのまちづくりを中心になってコーディネート
- 2023年に地元企業と「(株)こほくエナジー」を設立。
- 国内ではおそらく初の基礎自治体の計画に「エネルギーエージェンシー」を位置づけ、自治体のエネルギーまちづくり政策や地元企業のエネルギービジネスのインキュベーション支援等の中間支援機関の設立を目指している。
- 市内の活動団体「エネシフ湖北」で、環境省「地域循環共生圏プラットフォーム構築事業」を活用し、地域課題解決を図りながら新たな地域エネルギービジネスの立上げを後押しするための地元向けのイベントを開催

エネシフミートアップvol.1
ゼロカーボン×エコハウス×暮らし



エネシフミートアップvol.3
ゼロカーボン×森づくり

